

会 議 録

会 議 の 名 称		平成29年度第2回子ども・子育て会議
開 催 日 時		平成30年3月1日(木) 午前10時～午前11時30分
開 催 場 所		役場庁舎2階 中会議室
議 題		(1) 「かわじま子育て応援プラン」の進捗管理等について (2) 子どもの遊び場整備事業について (3) 川島町子育て支援総合センター「かわみんハウス」について (4) その他
公開・非公開の別		公開(傍聴人0名)
出席者	委 員 (敬称略)	中谷 茂一、高倉 富美子、山口 三葉子、杉浦 浩美、小林 紀子、石川 まり子、黒田 信行、増村 順子
	その他関係者 (敬称略)	シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社(指定管理業者) 水谷 好一、近藤 良、小澤 奈美子
	事務局職員	子育て支援課 山崎 勝義、松本 竹司、小島 秀夫
配 布 資 料		資料1 平成29年度第2回川島町子ども・子育て会議次第 資料2 平成29年度第2回川島町子ども・子育て会議スライド 資料3 かわじま子育て応援プラン事業実施調書 資料4 産前産後ヘルパー事業チラシ 資料5 かわみんハウス事業報告資料 資料6 川島町子育て支援・児童センター「かわみんハウス」だより 2・3月号
審議会等の内容・概要		
1 開会		
2 あいさつ 中谷会長		
3 議題		
(1) 「かわじま子育て応援プラン」の進捗管理等について		
・事務局より、かわじま子育て応援プランについて、今年度の実績を説明しました。		
・かわじま子育て応援プラン実現に向け、町全体で実施した事業について、調書に基づき説明しました。		
・昨年度末より開始した産前・産後ヘルパー事業について、実績を説明しました。		
(2) 川島町子どもの遊び場整備事業について		
・事務局より、平成27年度から実施している子どもの遊び場整備事業について、今年度の実績を説明しました。		
(3) 川島町子育て支援総合センター「かわみんハウス」について		
・事務局より、4月からオープンした川島町子育て支援総合センターについて、概要を説明しました。続いて指定管理業者であるシダックス大新東ヒューマンサービス		

より、今年度の事業実績及び来年度に向けた課題について、説明がされました。

(4) その他

- ・会議は公開であることを説明し、会議録の署名委員は杉浦委員と小林委員に依頼しました。

4 閉会 高倉副会長

ご意見まとめ

(1) 川島町こども子育て支援事業計画「かわじま子育て応援プラン」について

【会 長】 幼稚園・認定こども園の平成29年度実績入園見込人数が237人となっておりますが、当初の見込人数より35人上回ります。計画を立てた時点では数が減っていくと想定して人数を見込みましたが、平成31年度時点では予想より減らない可能性があります。確保方策として十分な枠は確保できますが、将来的に見直しが必要かもしれません。

同様に、保育園3～5歳の平成29年度実績入園見込数は137人、平成30年度、当初見込人数は141人と4人増となりますが、同様に想定した人数と比べると、減少せずに増加しております。

確保方策の人数の近似値まで増加しておりますので、こちらについても、計画の見直しが必要と思われます。

保育園0～2歳について、認可保育園が町内に開園したことにより、選択肢が増えたのは喜ばしいです。

地域子育て支援事業について、川島町子育て支援総合センター「かわみんハウス」オープンにより、実績が大幅に増加しましたが、今後も今年度以上に多くのかたにご利用いただければと思います。

乳児訪問事業について、実績が大きく減少しておりますが、これは実際の川島町の出生数が減少したということがわかります。

子育て短期支援事業（ショートステイ・トワイライトステイ）について、今後の予定・計画はどのようになっているのでしょうか。町独自で実施、もしくは周辺市町村と合同実施を考えているのでしょうか。

【事務局】 子育て短期支援事業（ショートステイ・トワイライトステイ）について、近隣の市町村で実績のある施設での実施を検討していますが、具体的には決定していません。町ではなく、市で実施しているため、周辺町村で連携できればと考えております。

【会 長】 実績なしは仕方がないことですが、事業に対する住民からの問い合わせはなかったのでしょうか。

【事務局】 ありませんでした。

【会 長】 おそらく、他市町村でこういった事業が実施されていることを知らない可能性が高いと思われます。実際、子育て短期支援事業（ショートステイ・トワイライトステイ）について知らないかたが多いのではないのでしょうか。

潜在ニーズはあるはずなので今後も検討をお願いします。

【会 長】 ファミリーサポート事業について、利用者増はなぜでしょうか。

【事務局】 延べ人数で実績を計上するため、長期かつ兄弟での利用があれば増加します。

【会 長】 住民に認知ができてきたことも理由の一つだと思います。今後、さらに利用者が増えることを考え、サポーターの人数確保を検討していただきたいと思

います。

一時預かりについても、全体的に増加しております。計画見直しも検討する必要があります。

病児・病後児保育について、今年度において、利用者数はほとんどおりませんでした。他市町村では、インフルエンザの時期等は予約でいっぱいというところもあります。これは自宅に対応することなのか、事業が知られていないという周知不足なののでしょうか。

【事務局】 町外（東松山市）で預ってくれる病院があるため、そういったところを利用していると考えられます。また、周知が不足していることも理由の1つと考えられます。

【委員（保育園長）】 保育園の園児が病気となった場合、祖父母に預かってもらうケースと病院内保育を利用するケースの両方が見受けられます。

【委員】 産前産後ヘルパー事業について、母子手帳を受けてから、出産後1年までが対象とのことですが、利用可能期間の後はファミリーサポート事業を利用してもらえばよいのでしょうか。

【事務局】 産前産後ヘルパー事業は、家事代行を行う事業であるため、ファミリーサポート事業と内容が異なります。出産後1年からは、ファミリーサポート事業で子どもを保育してもらおう形に切り替えてもらうという利用方法を想定しております。

【会長】 利用目的は異なりますが、うまく利用することで産前・産後の保護者の援助につながるので、今後も拡充していただきたいと思います。

【委員】 新たな認可保育園であるあすか保育園について、2歳まで入所できますが、卒園後3歳から他の保育園に入所となります。町では、どのように考えていますか。

【会長】 他市町村でも問題になっているところもあります。是非注意していただきたいです。

連携保育制度（2歳で卒園する児童に対し、3歳で新規入所できる保育園の枠を確保すること）については、制度上では開設して数年間は猶予期間を設けて、実施しなくてもよいことになっておりますが川島町では優先的に入所できるようにはなっていないのでしょうか。

【事務局】 町としては、3歳から町の保育園で受け入れるという考えです。

【会長】 事業調書について、各課の評価は自己評価なののでしょうか。

【事務局】 自己評価となっております。

【会長】 1つの課のみが対象となっている項目、複数課にわたる項目がありますが、いずれかの課が実施しております。実施してない課の自己評価はEランク（最低）になっておりますが、町としてはどのように考えているのでしょうか。事業をやるべきという考えなののでしょうか。

【事務局】 同じ内容の事業を複数課で別々に実施する必要もないと考えております。

【会長】 目的が違う課なので実施する事業内容も基本的に異なります。重複は避けられればよいと思います。

【委員】 将来的に、障がいを持った保護者を対象とした訪問型の事業（保育など）を検討していただきたいです。

【会長】 他市町村では、障がいを持ったお子さんを対象とした保育事業がありますが、今回ご意見いただいたものと性格が異なります。

ひきこもり等により、（外に）出ることができない家庭に訪問するという

のは、課題の一つとなっております。今後、検討していただきたいと思ひます。

【事務局】今年度は、かわじま子育て応援プランの中間年度になります。概ね、計画どおりに進捗しています。しかし、ニーズ調査と異なる結果が出ている事業もあるため、今後事業ごとに検討する必要があります。

(2) 川島町子どもの遊び場整備事業について

【会長】整備中・整備後の地域住民からのご意見・ご要望はあったのでしょうか。

【事務局】整備後にフェンスをつけたいという要望があった地域では、別の補助事業（一部補助）でフェンスを設置しました。

【会長】保護者や区長からの感想はどのようなものがあがっているのでしょうか。

【事務局】保護者から遊具が新しくなったこと・危険な遊具がなくなったことについて良かったとの声を伺っています。

【委員】整備される前は、保護者は児童が安全に利用できるよう気を使う必要がありました。フェンスが設置され、以前よりも注意を払う必要がなくなってよかったですと思います。

【委員】町内の公園の遊具更新・もしくは閉園について、利用者等の聞き取り調査は実施したのでしょうか。

【事務局】整備の打ち合わせ時に各地区区長に地域の状況をお伺いしたうえで、整備を実施しています。

【委員】整備後の定期的な安全点検について、どのように考えているのでしょうか。

【事務局】来年度ですべての児童遊園地の整備が終了します。その後、定期的に町での点検実施を検討しています。

【会長】ガイドラインに沿って、事故防止のためにも、点検をぜひ実施していただきたいと思ひます。

(3) 川島町子育て支援総合センター「かわみんハウス」について

【委員】かわみんハウスを利用している保護者が職員から「折り紙などを持ち込んで工作を行う際に、危険なためハサミは使用できない。」と言われたとのことでした。安全なハサミを用意する等工夫して、利用者のニーズに対応していただきたいです。

また、職員について、いつも手が空いているように見えますので、余裕があるのであれば、紙芝居などで児童に関わっていただきたいです。

講座や事業について、小さい子（就園前）向けのものが多いので、小学生までの児童向けの事業も増やしていただきたいと思ひます。

遊具については、幼稚園の遊具をそのまま利用しているので、就園前の児童向けの遊具も設置していただきたいと思ひます。

【指定管理業者（シダックス）】ハサミ使用については、検討します。職員についても紙芝居、パネルシアターなどで、児童に積極的に関わっていきます。

【事務局】遊具については、今年度は屋外用ボルタリング遊具を設置しました。現在は、幼稚園時の稼働遊具が中心となっております。今後も、保護者の意見を参考に新たな遊具の設置について検討していきます。

【会長】是非、来年度の計画に盛り込んでいただきたいと思ひます。

【委員（民生委員）】親子教室について、民生委員・主任児童委員が関わらせていただいていたのですが、来年度以降はどのように実施するのでしょうか。

【事務局】今年度は移行段階ということで、町職員が主体となり、かわみんハウスを会場に実施してきました。来年度からは、かわみんハウスの職員が主となり、実施していきます。民生委員・主任児童委員の参加についても、今後も連携して実施できればよいと考えております。

【委員】平成29年度実績について、中高生の利用者もいるようですが、どのような利用だったのでしょうか。

【指定管理業者（シダックス）】弟・妹等の付添いでの利用が多いです。中学生の利用者の中には、一度利用した後、再び利用してくれる子もいらっしゃいました。

【委員】中学生向けの事業は、今年度は実施していないのでしょうか。

【指定管理業者（シダックス）】今年度については、中学生向け事業は実施できておりませんが学習室があるので、夏休みなどの長期休暇で勉強、宿題する場所として活用していただきました。

【会長】事業報告資料中の赤く塗られている箇所はどのような意味があるのでしょうか。

【指定管理業者（シダックス）】赤く塗られている箇所は、今年度実施した事業でかつ、課題が残ったと判断した事業です。こちらの事業は講座数や参加者数が少ないなど、課題があります。来年度は対策を実施する必要があります。

【会長】中高生が利用してもらえるような指定管理者ならではの事業を他市町村での実績をもとにぜひ考案していただきたいです。

また、来館者データを参照すると、町外利用者が順調に増加しております。町外の方がこれだけ来ている来訪しているのは施設が魅力的である証拠ですのでぜひ、町内の小中高生も楽しめる施設であっていただきたいです。

小学生の利用者について、後半の冬の利用が減少するのは仕方ありませんが、夏休み後、秋から利用が減少しております。利用してみて、自分たちより小さい年齢向き施設だと判断した可能性もあると思います。

乳幼児向けの事業は充実しているということでもあります。是非、新年度の課題として、中・高生の事業の提案をお願いしたいと思います。

【委員】かわみんハウスで実施されている健診（3歳児健診）について、待ち時間が長いため、子どもが飽きてしまいます。ホールで待っているときは遊具があるのでよいですが、個室で待っているときがとても長く感じます。


【委員（保健師）】毎回、受診者数（出生月ごと）が異なるため、長時間お待ちいただく日もあります。待ち時間については、方法を工夫する等、検討したいと思います。

【会長】ある程度の予約制にできれば良いのではないのでしょうか。他市町村の実施内容等を踏まえて様々な方向から検討していただきたいです。

【委員】待ち時間に職員等による、手遊び等の実施を検討してもらってもいいのではないのでしょうか。

【委員】健診の流れと待っている間の過ごし方の両方を検討していただきたいです。

【委員（保健師）】検討します。

署名	小林 紀子 
	杉浦 浩美 